

「実務経験のある教員による授業科目」

共通教育科目	学部	学科	科目名	単位数	担当教員名	概要
共通教育科目	全学部	全学科	農とくらし／自然を体験する	2	今村 直美	有機農家としての10年の経験を元に、共に人と自然の関わりや環境にやさしい暮らしについて考えます。
			キャリア・プランニングⅠ	2	藤原 昌樹 岩崎 利彦 山上 徹也	株式会社マイナビ等において、就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、それぞれの人生を考えながら、自己を理解し社会の基本について学ぶ。
			キャリア・プランニングⅡ(1)	2	手塚 崇子 橋本 慶美	公務員を就職希望する学生に対して、各種の情報を与え、学習の方法を手引きし、各自にライフ・プランとキャリア・プランを構想しうる人間力を涵養を図る。
			キャリア・プランニングⅢ(2)	2	種村 聡子 藤原 昌樹 大西 宗博 千野 裕子 佐々木 唯 種村 聡子	株式会社マイナビ等において、就職関連業務に従事している方を講師に招き、インターンシップのエントリーに向けた指導を行う。インターンシップの現状を把握し、エントリーシートの作成・添削指導を行う。
			キャリア・プランニングⅣ(1)	2	種村 聡子 藤原 昌樹 大西 克典 松岡 靖子 千野 裕子 佐々木 唯 種村 聡子	就職支援やコンサルティング業務に従事している方々、企業の採用担当者の方々などを講師に招き、インターンシップ必要事項を習得するための実践的な授業を実施する。
			キャリア・プランニングⅣ(2)	2	種村 聡子 藤原 昌樹 大西 克典 松岡 靖子 千野 裕子 佐々木 唯 種村 聡子	株式会社マイナビ等において、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート対策や面接対策など、実際の就職活動を想定した実践的な授業を行う。
			国際コミュニケーション演習(2)	2	石川 薫	外交官として国連外交の事務方責任者を務めた経験を活かし、SDGs(持続可能な開発目標)とは何か、また日本が推進する「人間の安全保障」の実現方法について探求する。
			国際コミュニケーション演習(3)	2	門田 裕次	インバウンド旅行業において、通訳案内士に従事している経験を活かして、英語で日本の伝統文化、風物、行事を発信できるように授業を行い、実際に明治神宮にて訪日観光客に英語で通訳ガイドを行う。
			国際コミュニケーション演習(4)	2	田中 美保子	翻訳家として小説やノンフィクション作品の翻訳に従事している経験を活かした実践的教育を行う。自ら訳してみるほかに、翻訳と翻訳研究の方法論の基礎を学び、その応用として原文と翻訳文の比較検討を行う。
			キャリア・イングリッシュⅠ	2	門田 裕次	通訳業・インバウンド旅行業で通訳士・通訳案内士に従事している経験を活かし、実践的な逐次通訳訓練を行い、日本文化を英語で発信できるように実際に浅草寺にて訪日観光客に英語で通訳ガイドを行う。
キャリア・イングリッシュⅡ	2	田中 美保子	翻訳家として小説やノンフィクション作品の翻訳に従事している経験を活かした実践的教育を行う。翻訳実習を通して、英文読解力と日本語表現力を磨き、英日両言語の特性や両言語文化の異同を体験的に考える。			
国際文化特講Ⅲ	2	前沢 明枝	翻訳家として海外児童文学作品を日本に紹介してきた経験を生かし、国際社会が評価する児童文学について考える。アンデルセン賞にふさわしい日本人作家を選び海外で認知されるためのプロデュース方法を考える。			
国際文化特講Ⅳ	2	石川 薫	外交官として、経済外交、環太平洋外交、開発支援などの事務方責任者を務めた経験を活かしてインド洋と太平洋沿岸諸国について学び、またアフリカの実態から国家の一体性、国連の真実を探求する。			
国際コミュニケーション特講Ⅳ	2	前沢 明枝	これまで児童文学で国際アンデルセン賞を受賞した作家、画家の作品を読み、国際社会が評価する作品について分析する。世界に紹介したい日本人作家・画家を選び、そのプロデュース方法を考える。			
児童英語教育法	2	松本 修	小学校の英語活動支援員として経験のある教員が、その経験を活かして、児童英語教育における教育方法について講義し、実践的な知識・技術を習得できるよう指導する。			
児童英語教材研究	2	松本 修	小学校の英語活動支援員として経験のある教員が、その経験を活かして、児童英語教育における指導案の作成、および教員・教材の作成・活用方法について講義し、実践的な知識・技術を習得できるよう指導する。			
専門教育科目	文学部	国際英語学科	博物館経営論	2	塩谷 修	博物館管理職としての経験に基づき、博物館の適切な管理運営について講義する。博物館法、公立博物館、地域博物館、学芸員の視点から、行財政制度、組織と職員、広報活動などの現状と課題について解説する。
			博物館資料論	2	塩谷 修	学芸員の業務経験の視点から、博物館資料の概念や意義を講義する。資料化の目的を提示し、資料の収集・整理、二次資料の作製、資料の調査研究、資料の動線の順に、博物館資料の特質と価値について解説する。
			博物館資料保存論	2	塩谷 修	公開承認施設における学芸業務の経験を活かして、良好な収蔵・展示環境維持と資料保存の基礎力を養う。
			博物館展示論	2	塩谷 修	博物館の役割と展示の実務経験を踏まえて、展示の理念と実際を講義する。展示の歴史、展示の役割、展示の理念、展示の企画と実践、展示改装と新しい展示の5部構成で、歴史系博物館の実例をもとに解説する。
			博物館情報・メディア論	2	新 和宏	千葉の県立博物館4館、国立歴史民俗博物館において、博物館経営及び博物館の全事業領域に従事している経験と知見を活かして、博物館の情報をいかに発信していくか、発信する際の留意点等に関して講義する。
			博物館実習	4	塩谷 修	学芸員としての館務実習従事者の経験を活かし、学内実習、館務実習、学外見学を行う。資料取扱いの心得と実践、保存環境対策、博物館と展示の設計や展示物製作を行い、博物館づくりと活動の実際を理解する。
			スポーツ・健康心理学	2	西川 将巳	心理学的観点から見たスポーツと健康についての理解を深めることを目的とする。認定スポーツ医としての立場から、スポーツや健康における様々な心理学的・心身医学的実例・実践について講義・概観して行く。
			精神疾患とその治療	2	渡邊 昭彦	本講義では精神科医として臨床に従事している経験に基づき、隣接諸領域の学習の助けとなるような基本的な知識の習得と整理を目指す。本年は代表的な精神障害を中心に講義を行う予定である。
			障害児心理学	2	松岡 靖子	発達過程のなかで見られる様々な障害と支援について、スクールカウンセラーとして対応する学校現場の事例も踏まえて実践的に解説する。
			心理査定法(2)	2	平岡 さゆり	精神鑑定で様々な心理検査を行っている経験を活かし、実際の現場での心理検査の用いられ方を教え、各学生に心理検査を体験させる。人物を心理査定することの意義と配慮について実践的に考える授業を行う。
心理療法各論Ⅱ	2	片岡 友香	本講義では、遊戯療法についての概要を学ぶことを目的としているが、児童養護施設や保育園で心理士として関わった事例を活かし、ロールプレイやディスカッションを行う中で体験的に学んでいく。			
心理療法各論Ⅲ	2	鳥越 淳一	本講義では、心理臨床家として精神分析のカウンセリングを行っている経験を活かし、フロイト理論を中心とした人格及び病理の形成と治療の意味を、ロールプレイなどを交え体験的に学習する。			
日本文化学科	日本語教育入門	2	長崎 靖子	日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、本授業では、外国語として日本語を教える場合に必要となる知識を実践的な内容から教授し、その能力を養う。		
	日本語教育演習(日本語教育実習を含む)	2	長崎 靖子	日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、将来日本語教育に携わることを目指す学生に、日本語学校で日本語教育実習を行うことの出来る知識並びに実践的な日本語教授法を教え、その力を養う。		
	日本語教育海外実習	2	長崎 靖子	日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、将来日本語教育に携わることを目指す学生に、海外の大学で日本語教育実習を行うことの出来る知識並びに実践的な日本語教授法を教え、その力を養う。		
	日本の美術(1)	2	真田 尊光	地域博物館で美術品担当の学芸員として従事した経験を活かし、日本の美術品(主に絵画・彫刻・建築)に関する基礎知識や鑑賞法の習得を、実物作品を取り扱う実習やフィールドワークにもとめて行う。		
	日本の美術(2)	2	真田 尊光	地域博物館で美術品担当の学芸員として従事した経験を活かし、日本の多様な工芸品の特徴の解説と鑑賞法の習得について、実物の観察や取り扱いの実習にもとめて行う。		
	文化財の保護と修復(1)	2	真田 尊光	地域博物館で学芸員として従事した経験を活かし、日本の文化財保護の理念と実際の修復のあり方について、文化財の取り扱いの実習やフィールドワークを通じて学習する。		
	文化財の保護と修復(2)	2	真田 尊光	地域博物館で学芸員として従事した経験を活かし、日本の文化財保護の理念と実際の修復のあり方について、フィールドワークや文化財に関する実習・プレゼンテーションを通じて学習する。		

教育学部	幼児教育学科	保育内容の理解と方法(音楽)	2	古山 律子	幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す保育内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開する為に必要な音楽的知識、技術を習得する。 幼稚園教諭としての実体験を基に事例を示し、双方向の展開とする。
		保育内容人間関係の指導法	2	草信 和世	保育内容人間関係の領域に焦点を当て、現代という時代における子どもの人間関係および保育者の役割と援助について理解を深める。 幼稚園における幼稚園教諭の経験を活かし、実践的な授業を展開する。
		幼児音楽指導法	2	古山 律子	子どもの感性を養うための環境構成や保育の展開に必要な音楽的知識、技術、指導法を学ぶ。幼稚園教諭としての実務経験に基づく実技指導に加え、最新の理論を解説し、理論と実践の融合により理解を深める。
		保育内容演習(3)	2	江村 綾野	児童福祉施設での乳幼児保育の経験を活かして、環境構成の理論と実践について演習(グループワーク、プレゼンテーション)する。
		保育の方法と技術	2	草信 和世	教育の方法及び教育の目的に適したアクティブ・ラーニング等の指導技術を理解し身につけるとともに、情報機器を活用した教材作成・活用に関する基礎的な力を身につける。 幼稚園における幼稚園教諭の経験を活かし実践的な授業を展開する。
		教育実習演習(事前・事後指導)	1	草信 和世 近藤 千草	幼稚園教育実習を実施するにあたり、事前事後の指導として行う。 幼稚園教育実習の効果的な達成を目指し、その実現を目的とする。 幼稚園における幼稚園教諭の経験を活かし実践的な授業を展開する。
		社会福祉	2	佐久間 美穂	保育士として必要な社会福祉の基礎的な内容について、民間相談機関の相談援助の経験を活用し、知識や習得することを目的とする。 また、子どもを含めた共生社会の考え方や課題についても学習する。
		子どもの保健	2	佐藤 里美	小児科看護師としての経験を活かして、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解し、身体の発育・発達・保健及び健康状態の把握方法、疾病と予防法を学ぶ。 さらに他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。
		乳児保育 I	2	江村 綾野	児童福祉施設における乳児(3歳未満児)保育に従事した経験を活かして、乳児保育の意義、目的、役割、乳児保育の課題と現状、保育内容、職員間の連携、家庭や関係機関との連携について概説する。
		保育相談支援	2	江村 綾野	児童福祉施設において子育て支援に従事していた経験を活かして、保育相談支援の意義と原則および実際についてグループワークやロールプレイを通して演習する。
		保育実習演習 II(事前・事後指導)	1	佐久間 美穂 川島 益雄 手塚 崇子 京坂 和憲	第一に児童福祉施設の機能・役割を理解する。 第二に支援者としての自分自身の課題を明確に持ち、実習前の準備と事後の省察を行う。 授業では知的障害者施設支援員等の経験を持つ教員による授業も実施する。
		乳幼児発達障害	2	京坂 和憲	発達障害について理解し、具体的な支援の方法を学ぶ。授業において、保育園・幼稚園での巡回支援専門員の経験を活かし事例を交えて内容を構成する。
	児童教育学科	算数科教育法	2	田中 聡	中学校・教育委員会等での実務経験を活かし、算数指導法の理論的基礎、学習指導要領に基づく4領域の教材研究の方法と学習指導案の作成法を学ぶ。
		理科教育法	2	加藤 美由紀	模擬授業の実習を通して、エネルギー、粒子、生命、地球の各領域の理科の見方と、各学年の理科の考え方を理解し、理科の学習指導を把握する。 中学校に勤務した実務経験を活かしながら、模擬授業を支援する。
		生活科教育法	2	森田 和良	小学校教諭の経験を活かした実践的教育内容を行い、児童の実態に即した指導法を習得する。 学習指導案の作成や模擬授業の実践を通して、実践的な指導力を身につける。
		図画工作科教育法	2	木村 早苗	小学校教員の経験を生かし、具体的な子どもの表現の姿や作品を基に実践的に授業を行う。 自らの表現活動から意識の流れや活動を振り返り、多様で柔軟な題材設定を試行し、ポートフォリオにまとめる。
		特別活動の指導法(小学校)	2	川島 益雄	小学校での実務経験を生かして授業を展開します。 「特別活動は学校生活の中でどのような役割をはたしているのか」を明らかにするために、特別活動の教育的意義や目標、内容及び指導方法について学習します。
		算数	2	田中 聡	算数教材の内容と構成について、学習指導要領に基づき、領域ごとに系統的に分析する。 各領域の相互の関連について理解を深める。 また、中学校・教育委員会での経験を活かした実践的教育内容を行う。
		理科	2	加藤 美由紀	エネルギー、粒子、生命、地球の各領域に対応した実験実習を通して、自然科学の知識や技能、思考力を身につける。 中学校に勤務した実務経験を活かして小中高の接続性を意識しながら授業を行う。
		生活	2	森田 和良	小学校教諭の経験を活かした実践的教育内容を行うことで、生活科の目標や教科特質を理解するとともに、具体的な活動を体験した上で教材開発や授業づくり等の実践力を養い、生活科教育の理解を深める。
図画工作		2	木村 早苗	小学校教員の経験を生かし、造形表現活動における支援の重要性を実践的に示す。 その中で多様な表現の可能性を知り、題材開発や指導力の向上に役立てる。 またその活動をポートフォリオにまとめる。	
書写		1	田畑 理恵	指導法・評価法はテキストをもとにして知識の蓄積を目指すとともに、小学校国語科書写の授業実践の実務経験を活かした実践的教育内容を行う。 技能は、実技演習によって習得・習熟していくようにする。	
教職教養演習(3)		2	京坂 和憲	教員の役割、教職に関する専門的・実践的知識を学ぶ。 授業において、行政・学校での勤務経験、特に特別支援教育の専門性を活かし内容を構成する。	
教職教養演習(4)		2	田中 聡	中学校・教育委員会等での実務経験を活かし、教職に必要な不可欠な力である「伝える力」を育成する。 理論を学び、演習を繰り返すことで、伝えるための技術を身に付け、教育実践者としての資質の向上を図る。	
教職専門演習(3)		2	田中 聡	中学校・教育委員会等での実務経験を活かし、算数教材に対して、それが発展して高等学校での数学教材とどのように結びつくかについて、算数教材の系統性・発展性を明確にし、算数教材の理解を深める。	
教職専門演習(4)		2	加藤 美由紀	小学校理科のエネルギー、粒子、生命、地球の各領域に対応する自然科学の知識を整理し、教員採用試験対策の問題演習を行う。 中高校に勤務した実務経験を活かし、自然と自然科学に関する学習指導の演習を行う。	

生活創造学部	生活文化学科	社会生活入門(1)	2	齋藤 美重子	家庭科教員や企業で働いてきた経験を活かしつつ家政学及び社会学の諸理論によって社会現象を分析し、課題を発見して課題解決と生活の質を高めるため必要な環境・自助・互助・共助・公助について理解する。	
		社会生活入門(2)	2	齋藤 美重子	家庭科教員や企業で働いてきた経験を活かしつつ、家政学及び社会学の諸理論によって、生活を取り巻く社会現象を分析し理解する。	
		サービス産業論	2	齋藤 美重子	現代日本社会における身近なところで生じている諸問題を、多様な角度から把握することを目的とする。	
		農と地産地消／自然を考えるⅠ	2	今村 直美	有機農家として営農している経験を元に、野菜の有機栽培を行います。その野菜を収穫し、野菜販売(準備)や調理の実習を行います。また、地域の農業や地産地消活動等について考えます。	
		農と地産地消／自然を考えるⅡ	4	今村 直美	野菜の有機栽培をします。有機農家としての10年のネットワークを活かし、栽培した野菜と共に子ども食堂に参加したり、農福連携を行っている農家訪問をし、社会の現状と食や農の関わりについて考えます。	
		消費生活論	2	齋藤 美重子	家庭科教員としての授業経験を活かし、グローバル化の中で消費者問題の構造を理解し、生活者の視点から見つめ直し改善策を探る。＜共有＞から＜利用＞へと変化している現在の消費生活について探求する。	
		ベンジ論	2	霜村 春菜	野菜ソムリエと農経新聞社非常勤取締役の立場から様々な企画提案を行ってきた経験を活かし、即戦力となるプロの知識と具体的な企画提案の方法を、それぞれの学生の個性に合わせ指導します。	
		医療秘書実務	2	鈴木 誠	総合病院の事務長(医事課・秘書課を含む医療事務全般)として従事していた経験を活かし、実践的内容の教育を行い、変化の激しい医療現場で対応できる即応能力、実践力の学習に力を点を置く。	
		医療事務総論	2	鈴木 誠	総合病院の事務長(医事課・秘書課を含む医療事務全般)として従事した経験を活かし、実践的内容の教育を行い、医療事務の基礎を学び、事例演習で理解を深める指導を行う。	
		医療秘書実務実習演習(事前・事後指導)	1	鈴木 誠 高橋 裕子	総合病院において、事務長に従事していた経験を活かし、実践的教育内容を行い、病院実習を円滑に行うための責任と心得を持つことを指導する。	
		医療事務演習	1	鈴木 誠	総合病院の事務長(医療事務全般)として従事した経験を活かし、実践的内容の教育を行い、診療録(カルテ)の読み方、診療報酬明細書(レセプト)の書き方を学習し、カルテからレセプトを作成する指導を行う。	
		観光文化学科	観光文化実践Ⅰ	2	丹治 朋子	ホテル産業の部門構成や業務内容について理解する。ホテルを訪問するホテル研修では、宿泊、料飲、宴会、ブライダルの4部門の実務担当者より講義を受け、実際の施設を見学し、ディスカッションを行う。
			観光文化実践Ⅳ	2	小堀 貴亮	観光地域を学びのステージとして地域と連携した演習を行う。特に担当者の旅行EC企業におけるメディア制作・編集経験を活かし、観光マップ制作、フィールドワークなどを通じて実践的に地域理解を深めていく。
	観光文化実践Ⅴ		2	種村 聡子	ホテルなどのホスピタリティ産業の仕事や人材マネジメントについて理解を深める。講師の人事マネジメント経験を活かし、ホテルでの実習を通して個人のキャリア意識を醸成する。	
	観光文化実践Ⅵ		2	樋口 雅之	担当者の旅行代理店において旅行業務取扱管理者として旅行実務に従事してきた経験や知識を活かし、国内旅行業務取扱管理者(国家資格)試験に向けての直前対策を講じ、合格を目指していく。	
	観光の情報デザイン(1)		2	小堀 貴亮	観光業界・地域で展開されている最先端のITCが、どのように活用され、運用されているかを把握するとともに、担当者の旅行EC企業におけるメディア制作・編集経験を活かし、観光情報スキルを修得する。	
	観光の情報デザイン(2)		2	小堀 貴亮	観光業界・地域における様々なメディアの事例を検証するとともに、担当者の旅行EC企業における観光メディア制作・コンテンツ編集経験を活かし、各種観光メディアの制作・デザインを実践する。	
	ホスピタリティ入門		2	種村 聡子	ホスピタリティ産業の根幹にあるホスピタリティの概念を整理し、その役割を理解したうえで、適切に発揮できることが目的。講師は航空会社での接客経験を活かして、ロールプレイを通じ接遇の基本を実践する。	
	コンシェルジュ論	2	丹治 朋子	ホテルや旅館におけるコンシェルジュの機能や役割について幅広い知識を獲得し、ディスカッションを通じてそのあり方を考える。コンシェルジュ経験者の講演やコンシェルジュデスクの見学なども実施する。		
	旅行事業論	2	井原 優	担当者の旅行代理店において企画・営業・商品作成・開発等様々な旅行業務に従事してきた経験を活かし、旅行業で不可欠な知識やスキルを実践的に修得させる。		
エアライン事業論	2	種村 聡子	航空会社の経営や人材管理についての現状や課題を把握し、将来の展望を考察する。講師の航空会社でのマネジメント経験を活かし、人材育成や評価方法などの実践的な演習を行う。			
テーマパーク事業論	2	和久井 昭仁	担当者のテーマパークでのエンターテイメント提供者としての経験を活かし、テーマパークの基礎知識や運営について知見を深める。フィールドワークとディスカッション、理論研究等により学際的に学習する。			
ブライダル事業論	2	丹治 朋子	ブライダル産業の環境及び、事業の内容を座学及びディスカッションを通じて理解することを目的としている。ブライダル事業の実務家による講義と現場見学によるフィールドワークも行う。			

※各科目の詳細はシラバスに記載されていますので、必ずシラバスで確認して下さい。